



務

土木學會誌 第十四卷第四號 昭和三年八月

○昭和三年五月二十九日役員會を開き、岡野會長井上、中川兩副會長井上、大岡、黑河内、中村、牧野の各常議員丹治、村兩主事田中、高橋、平山の各編輯委員出席、岡野會長議長席に着き、議事に先ち井上副會長より第十三回視察旅行の狀況の報告あり、終て下記事項を決議せり。

△下記二調査會を設置すること。

- イ 混凝土調査會
- ロ 用語調査會

△調査期間、調査範圍、豫算等は大體次の通りとす

- イ 混凝土調査會

期 間 約一箇年(但し一年後に於て存續すべきか否かは其の際協議すること)

調査範圍 先づ混凝土の施行示方書を研究制定すること

豫 算 約壹千圓

- ロ 用語調査會

期 間 約一箇年

調査範圍 土木工學各部門に共通なる用語を解釋すること

豫 算 約九百圓

△上記調査會の設置準備として次の會員に準備委員として依頼狀を發送すること

- イ 混凝土調査會準備委員

永山彌次郎君(東大) 高橋逸夫君(京大)

吉田徳次郎君(九大) 大河戸宗治君(鐵道省)

牧野雅樂之丞君(復興局) 物部長穂君(內務省)

黑河内四郎君(鐵道省)

- ロ 用語調査會準備委員

中山秀三郎君(東大) 那波光雄君

中川吉造君(內務省) 牧彦七君(東京市)

黑河内四郎君(鐵道省)

△各調査會委員及幹事の依頼其の他は準備委員會に於て豫め推薦し役員會に於て協議の上決定すること。

△六月下旬開催すべき講演會は會員金古久次君に依頼すること、尙當日鐵道省所藏の活動寫

眞を映寫し、終了後晚餐會を催すこと。會場、期日及演題は次回役員會迄に報告すること。
其の他會務に關する事項。

○同年六月六日編輯委員會を開き黒河内編輯委員長、菊池、鈴木、古川、三浦の各編輯委員菊池囑託出席、會誌編輯上に就き協議を爲せり。

○同年同月二十一日役員會を開き岡野會長、中川副會長中山、古川兩前會長井上、大岡、加賀山中村、福田、米山の各常議員丹治、村兩主事田中、平山、古川の各編輯委員出席岡野會長議長席に着き下記事項を決議せり。

△第五十回講演會は六月二十六日午後五時より學士會館に於て開催し會員金古久次君に「ミシシッピ河に於ける一九二七年の大水害及其の善後策に就て」の演題に依る講演を依頼すること。

△日本ポルトランドセメント業技術會より照會に係るポルトランドセメント規格改正意見に關する回答は混凝土調査委員に合議し其の上回答すること。

其の他會務に關する事項

○同年同月二十六日(火曜日)午後五時より東京市神田區錦町三ノ一三學士會館に於て第五十回講演會を開催し下記講演ありたり、當日は中川副會長外役員、會員、其の他合計百二十五名の來聴者あり。午後七時二十分講演會を終り直ちに鐵道省提供に係る活動寫眞數卷の映寫あり、次で同所に於て晚餐會を開き出席者五十四名、午後九時三十分盛會裡に散會せり。

○同年七月四日編輯委員會を開き鈴木、田中、平山、三浦の各編輯委員及菊池囑託出席會誌編輯上に就き協議を爲せり。

○同年五月二十六日土木學會誌第十四卷第二號發行成規の手續を了し翌二十七日各會員に配布せり。

○同年七月八日本會事務所を東京市麴町區永樂町一丁目一番地より同市麴町區八重洲町一丁目一番地(時事ビル内)に移轉せり。

○下記諸君は退會せられたり。

准 員

今 村 貢君	蒲 原 要 三君	小 林 一 市君
清 水 知君	田 中 民 夫君	千 葉 秀 雄君
徳 田 寄 海君	近 石 義 己君	奈 良 茂 樹君

○昭和三年五月十六日以降同年七月十五日迄に於て入會を承認し名簿に登録したる者下記の如し。(○印は轉格者を示す)

會 員

山 本 廣 一君	中 村 保君	福 來 總 十 郎君
----------	--------	------------

穴 戸 輝 雄君	伊 藤 清 一君	飯 田 房 太 郎君
奥 村 勝君	川 又 久 夫君	吉 本 慶 三君
中 澤 安 藏君	安 藤 四 良君	後 藤 勝 三君
川 上 敏 夫君	大 津 敏 春君	奥 田 秋 夫君
木 村 堅 治君	近 藤 鑛 之 助君	勝 原 享 三君
巽 巖君		

○昭和三年五月十六日以降同年七月十五日迄に於て寄贈又は交換を受けたる雑誌其の他下記
の如し。

寄贈を受けたる分

コンクリートの配合法	1 冊	加 藤 順 吉氏
日本動力會議々事録第 3 輯	1 冊	日 本 動 力 協 會
ポルトランドセメント長期試験報告	1 冊	内 務 省 大 阪 土 木 出 張 所
軌道成績調査經過報告(第 3, 4 回)	2 冊	鐵 道 省 工 務 局
東北帝國大學工學報告第 7 卷第 3 號	1 冊	東 北 帝 國 大 學
建築物の耐震的補強法に就て	1 冊	電 氣 協 會 關 西 支 部
技術試験所報告第 10 編	1 冊	復 興 局 技 術 試 驗 所
本邦製鐵鋼事業の合理的經營	1 冊	鐵 鋼 協 議 會
會報第 2 號	1 冊	日 本 動 力 協 會
水道第 22 號	1 冊	水 道 社
土木試験所報告第 10 號	1 冊	内 務 省 土 木 試 驗 所
森林と水	1 冊	平 田 德 太 郎 氏
日本最古の閘門に就て	1 冊	内 務 省 東 京 土 木 工 務 所
靈岸島量水標零位と東京灣中等潮位並に堀江量水標 零位との關係, 水陸特に港灣の基準面に就て	1 冊	同 上
利根川改修沿革考	1 冊	同 上
工業 五, 六, 七月號	3 冊	大 阪 工 業 會
工業之大日本第 5, 6, 7 號	3 冊	工 業 之 日 本 社
セメント界彙報第 187, 188, 189, 190 號	4 冊	セメント界彙報發行所
帝國學士院記事第 4, 5 號	2 冊	帝 國 學 士 院
滿洲技術協會誌第 5 卷第 25 號	1 冊	滿 洲 技 術 協 會
工業と社會第 30 卷第 6, 7 號	2 冊	東 京 工 業 會
電氣製鋼第 5, 6 號	2 冊	電 氣 製 鋼 研 究 會

工學彙報第 3 卷第 2 號	1 冊	九州帝國大學工學部
日立評論第 5, 6 號	2 冊	日 立 評 論 社
建築ト材料第 1 卷第 12 號	1 冊	建 築 ト 材 料 社
工事畫報第 4 卷第 6, 7 號	2 冊	工 事 畫 報 社
名古屋工業會々報第 61, 62, 63 號	3 冊	名 古 屋 工 業 會
土木建築資料通信第 152, 154, 155 號	3 冊	土 木 建 築 資 料 通 信 社
三菱電機第 6, 7 號	2 冊	三 菱 電 機 神 戶 製 作 所
シビル第 6, 7 號	2 冊	シ ビ ル 社
東洋建築材料商報六, 七月號	2 冊	東 洋 建 材 商 報 社
工學部紀要第 3 號	1 冊	京 都 帝 國 大 學
第六回保線講話會記錄	1 冊	鐵 道 省 工 務 局
交換の分		
業務の概要	1 冊	鐵 道 省 大 臣 官 房 研 究 所
業務研究資料第 4, 5 號	2 冊	同 上
帝國鐵道協會々報第 5 號及帝國鐵道年鑑	2 冊	帝 國 鐵 道 協 會
機械學會誌第 133, 134, 號	2 冊	機 械 學 會
建築雜誌第 509, 510 號	2 冊	建 築 學 會
工業要錄第 4, 6 號	2 冊	工 業 要 錄 發 行 所
電氣學會雜誌第 478, 479, 480 號	3 冊	電 氣 學 會
日本建築士第 2 卷第 5, 6 號及第 3 卷第 1 號	3 冊	日 本 建 築 士 會
造船協會會報第 75 號	1 冊	造 船 協 會
鐵と鋼第 5, 6 號	2 冊	日 本 鐵 鋼 協 會
造船協會雜誌第 91, 號	1 冊	造 船 協 會
工政第 102, 103, 104 號	3 冊	工 政 會
工業化學雜誌第 31 編第 5, 6, 7 冊	3 冊	工 業 化 學 會
同上歐文	3 冊	同 上
港灣第 6, 7 號	2 冊	港 灣 協 會
衛生工業協會誌第 5, 6 號	2 冊	衛 生 工 業 協 會
日本鑛業會誌第 517, 518 號	2 冊	日 本 鑛 業 會

會 員 市 瀬 恭 次 郎 君

本會前會長工學博士市瀬恭次郎君は昭和三年八月十五日薨去せられたり、
本會は此の訃音に接し弔詞及花輪を靈前に呈し哀悼の意を表したり。

會 員 田 島 眞 吉 君

會員田島眞吉君は昭和三年七月十四日逝去せられたり、本會は此の訃音に
接し弔詞を靈前に呈し哀悼の意を表したり

准 員 小 久 見 靖 男 君

准員小久見靖男君は昭和三年三月逝去せられたり、本會は謹んで哀悼の意
を表す